

ホッカンホールディングス決算説明会

証券コード: 5902



2012年12月3日
ホッカンホールディングス株式会社

目次



代表取締役社長 工藤 常史

2013年3月期 第2四半期決算概要 及び通期見通し

第2四半期決算概要及び通期見通し		3
------------------	-------	---

2013年3月期 第2四半期トピックス

トピックス1		5
--------	-------	---

トピックス2		6
--------	-------	---

取締役 山崎節昌

2013年3月期 第2四半期決算および財務状況詳細

セグメント別概要①		8
-----------	-------	---

セグメント別概要②		9
-----------	-------	---

セグメント別概要③		10
-----------	-------	----

連結損益計算書		11
---------	-------	----

連結貸借対照表		12
---------	-------	----

連結有利子負債の推移		13
------------	-------	----

連結キャッシュフロー計算書		14
---------------	-------	----

連結2013年3月期見通し		15
---------------	-------	----

連結設備投資		16
--------	-------	----

【参考】経営成績

要約連結貸借対照表		18
-----------	-------	----

要約連結損益計算書		19
-----------	-------	----

要約連結キャッシュフロー計算書		20
-----------------	-------	----

【参考】会社概要

プロフィール		22
--------	-------	----

経営理念		23
------	-------	----

ホッカングループ紹介		24
------------	-------	----

本社と各社工場		25
---------	-------	----

沿革		26
----	-------	----

お問い合わせ先		27
---------	-------	----

2013年3月期 第2四半期決算概要 及び通期見通し

2013年3月期 第2四半期決算

単位:百万円、%

	2012年9月期		2011年9月期
		前年同期比 伸び率	
売上高	88,930	▲2.9	91,568
営業利益	3,865	0.5	3,847
経常利益	4,636	7.7	4,305
純利益	2,378	1.2	2,350

2013年3月期 業績予想

単位:百万円、%

	2013年3月期		2012年3月期
	通期見通し	前期比 伸び率	通期実績
売上高	167,000	▲3.5	173,123
営業利益	4,700	1.7	4,623
経常利益	5,400	0.8	5,355
当期純利益	2,400	4.0	2,306

■決算概要

清涼飲料業界は前年同期を上回る結果となるも主力飲料缶分野での販売不調により売上高▲2.9%

営業利益はPET製品充填増加が寄与し、全体としては前年同期比増加

経常利益は持分法による投資利益が増加、支払利息減少等が寄与し増益

純利益は館林工場の減損損失を計上したものの前年同期比1.2%増

■通期見通し

従来予想を据置き

2013年3月期 第2四半期 トピックス

PT.ホッカン・インドネシア 商業生産 年内開始予定

工場は8月完成。BPOM(インドネシア医薬品・食品監督庁)による工場監査も完了し、盤石の生産体制を確立。現地法規制変更への対応等により時間を要したが、年内には商業生産を開始し13年早々製品が市場に流通し始める見込み。



開所式テープカット



開所式での工場見学

ベトナム飲料充填事業 日本キャンパック100%子会社化

2007年設立されたキアンジュ・キャンパック・ベトナム。パートナーであるキアンジュ社から株式60%を買い取り、日本キャンパック100%子会社化を実施し、日本キャンパック・ベトナムへ名称変更。今後はベトナム国内だけでなく東南アジア全域への営業活動を活発化させていく方針。



日本キャンパックベトナム外観



パッケージング・ヤード

2013年3月期 第2四半期決算及び 財務状況詳細

セグメント別概要①



スチール缶事業	飲料用スチール缶	缶コーヒー分野、前年同期における一時的需要増加の反動	前年度比マイナス
	農産缶詰	スイートコーン缶の順調な販売	前年度比プラス
	水産缶詰	サバ、サンマの水揚げ遅れ等	前年度比マイナス
	エアゾール缶	ボンベ缶 震災需要の反動 家庭用消臭剤の海外シフトの影響	前年度比マイナス
	美術缶	新規得意先売上が伸長	前年度比プラス
プラスチック事業	飲料用ペットボトル	大型、小型とも受注好調	前年度比プラス
	プリフォーム	積極的な営業も前年比割	前年度比マイナス
	食品用プラスチックボトル	醤油等が消費低迷	前年度比マイナス
	一般成形品	園芸品分野が減少も 化粧品分野での受注拡大	前年度比プラス

容器事業：売上高 25,560百万円 前年同期比－6.2%

セグメント別概要②



充填事業

缶製品	缶コーヒーの受注減少	前年度比マイナス
小型ペットボトル	茶系飲料の増産	前年度比プラス
大型ペットボトル	麦茶、緑茶、ウーロン茶の増産	前年度比プラス

充填事業：売上高 62,634百万円 前年同期比 -1.3%

機械製作事業

機械製作部門	昨年度グループ内向け大型案件の反動 小袋充填機、医薬品用遠心分離の販売は好調	前年度比マイナス
エンジニアリング部門	東日本大震災からの復興特需が一服	前年度比マイナス

機械製作事業：売上高 735百万円 前年同期比 -14.0%

セグメント別概要③



単位: 百万円

		2012年9月期			2011年9月期		
		容器 事業	充填 事業	機械 製作	容器 事業	充填 事業	機械 製作
売上高		31,744	62,634	2,312	33,976	63,470	3,478
	外部顧客向け	25,560	62,634	735	27,243	63,470	854
	セグメント間	6,184	—	1,577	6,733	0	2,624
営業利益		713	3,851	5	992	3,394	177
	消去	▲594			▲707		
連結		3,865			3,847		

営業利益

- 容器事業: 飲料缶販売低迷により279百万円減益
- 充填事業: PET製品増加により457百万円増益
- 機械事業: 震災復興特需の反動により172百万円減益

連結損益計算書



単位: 百万円、%

	2012年9月期			2011年9月期	
		百分比	前年同期比 伸び率		百分比
売上高	88,930	100.0	-2.9	91,568	100.0
売上原価	78,149	87.9	-3.5	81,015	88.5
売上総利益	10,780	12.1	2.2	10,553	11.5
販管費	6,914	7.8	3.1	6,705	7.3
営業利益	3,865	4.3	0.5	3,847	4.2
営業外収益	1,109	1.2	28.8	861	0.9
営業外費用	338	0.4	-16.1	403	0.4
経常利益	4,636	5.2	7.7	4,305	4.7
特別利益	0	0	-100	94	0.1
特別損失	541	0.6	67.0	324	0.4
税引前利益	4,095	4.6	0.5	4,075	4.5
純利益	2,378	2.7	1.2	2,350	2.6

■売上高

2,638百万円減少

容器事業: 飲料缶の販売数量減少の影響を受け減収

■営業利益

18百万円増加

充填事業: PET製品増加により増益を達成

■経常利益

331百万円増加

持分法投資利益の改善もあり増益

■純利益

28百万円増加

減損損失を計上するも、前年同期比1.2%増益

連結貸借対照表

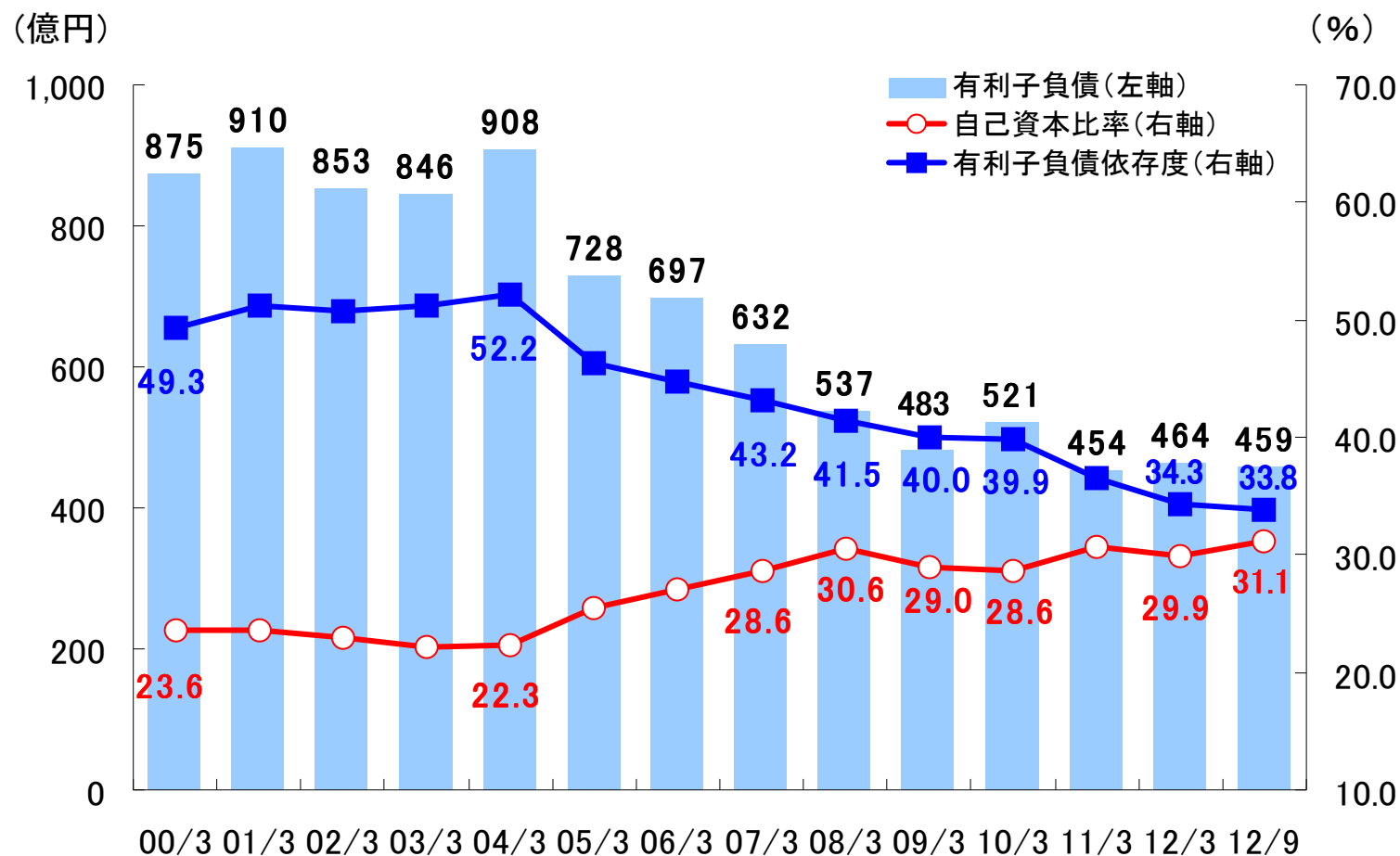


単位: 百万円、%

	2012年9月末		2012年3月末		2011年9月末	
		構成比		構成比		構成比
売上債権	41,820	30.8	39,156	29.0	36,419	27.2
棚卸資産	8,711	6.4	9,184	6.8	9,494	7.1
有形固定資産	60,345	44.5	62,633	46.3	62,947	47.0
総資産	135,668	100.0	135,176	100.0	134,041	100.0
仕入債務	31,103	22.9	32,636	24.1	30,658	22.9
短期借入金	17,463	12.9	14,502	10.7	17,905	13.4
長期借入金	28,441	21.0	31,855	23.6	29,911	22.3
純資産	44,953	33.1	43,010	31.8	42,558	31.7

- 総資産は492百万円増加
- 有利子負債は46,357百万円⇒45,904百万円
453百万円減少(前年同期比 1,912百万円減少)
- 自己資本比率は31.1%

連結有利子負債の推移



■ 有利子負債依存度は連結決算開始以来、最低となる33.8%
 自己資本比率は前期末比で1.2%増加し、31.1%となる。

連結キャッシュフロー計算書



単位: 百万円

	2012年9月期	2011年9月期	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	3,972	3,106	866
投資活動によるキャッシュフロー	▲4,101	▲6,266	2,165
財務活動によるキャッシュフロー	▲884	3,275	▲4,159
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲50	▲332	282
現金及び現金同等物の増減額	▲1,063	▲217	▲846
現金及び現金同等物の期末残高	532	3,751	▲3,219

- 営業活動によるキャッシュフローは 866百万円増加
- 投資活動によるキャッシュフローは2,165百万円増加
- 財務活動によるキャッシュフローは4,159百万円減少
- 現金及び現金同等物に係わる換算差額は282百万円増加
- この結果、手元キャッシュは3,219百万円減少

連結決算:2013年3月期見通し



単位:百万円、%

	2013年3月期			2012年3月期	
	上期実績	通期見通し	前期比	上期実績	通期実績
売上高	88,930	167,000	▲3.5	91,568	173,123
営業利益	3,865	4,700	1.7	3,847	4,623
経常利益	4,636	5,400	0.8	4,305	5,355
当期純利益	2,378	2,400	4.0	2,350	2,306

- 売上高は前期比3.5%減の1,670億円を見込む。
- 営業利益/経常利益は連結決算が始まって以来、過去最高となる4,700百万円/5,400百万円を見込む。
- 当期純利益は従来予想2,400百万円を据置き

連結設備投資



単位: 億円

	2008/3 実績	2009/3 実績	2010/3 実績	2011/3 実績	2012/3 実績	2013/3 見通し
設備投資額	40	45	141	90	88	70
減価償却費	87	79	74	90	92	86

2013年3月期 予想

- 容器事業: 製缶関連設備等 45 億円
- 充填事業: ペットボトル充填関連設備等 15 億円
- 海外事業: インドネシア建物・生産設備等 10 億円

[参考] 経営成績

要約連結貸借対照表



単位: 百万円、%

	2012年3月期		2011年3月期		2010年3月期	
		構成比		構成比		構成比
流動資産	54,132	40.0	43,710	35.1	49,267	37.7
預金・現金	1,595	1.2	3,968	3.2	1,800	1.4
売上債権	39,156	29.0	27,460	22.1	35,962	27.5
棚卸資産	9,184	6.8	9,105	7.3	7,802	6.0
固定資産	81,044	60.0	80,687	64.9	81,552	62.3
有形固定資産	62,633	46.3	63,919	51.4	65,143	49.8
総資産	135,176	100.0	124,398	100.0	130,820	100.0
流動負債	55,909	41.4	49,084	39.5	66,733	51.0
仕入債権	32,636	24.1	27,682	22.3	30,482	23.3
短期借入金	14,502	10.7	13,205	10.6	29,963	22.9
固定負債	36,256	26.8	35,942	28.9	25,652	19.6
長期借入金	31,855	23.6	32,163	25.9	22,169	16.9
負債合計	92,165	68.2	85,026	68.3	92,386	70.6
純資産	43,010	31.8	39,371	31.6	38,433	29.4

要約連結損益計算書



単位: 百万円、%

	2012年3月期		2011年3月期		2010年3月期	
		前期比		前期比		前期比
売上高	173,123	6.1	163,238	4.1	156,794	▲5.0
売上原価	155,601	5.8	147,104	4.6	140,643	▲7.2
売上総利益	17,522	8.6	16,134	▲0.1	16,151	18.5
販管費	12,899	5.8	12,192	1.4	12,029	▲0.6
営業利益	4,623	17.3	3,942	▲4.4	4,122	169.9
営業外収益	1,465	15.1	1,273	5.0	1,212	15.6
営業外費用	733	▲0.7	738	▲19.7	919	▲11.9
経常利益	5,355	19.6	4,477	1.4	4,415	188.2
特別利益	96	166.7	36	350	8	60.0
特別損失	900	▲55.7	2,030	85.9	1,092	▲74.9
税引前利益	4,551	83.4	2,482	▲25.5	3,331	—
純利益	2,306	55.0	1,488	▲32.6	2,209	—

要約連結キャッシュフロー計算書



単位: 百万円

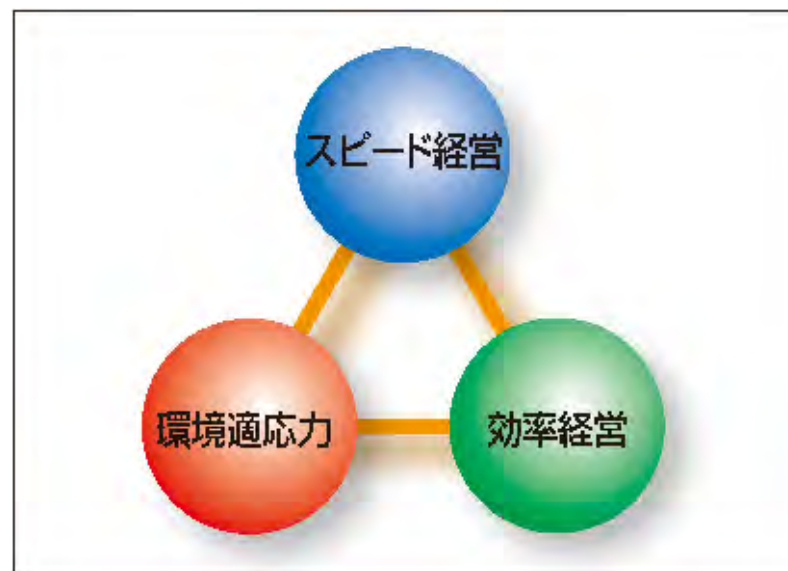
	2012年3月期	2011年3月期	2010年3月期
営業活動によるキャッシュフロー	6,883	18,451	7,497
税引前当期純利益	4,551	2,482	3,331
減価償却費	9,197	8,992	7,493
支払利息	582	636	719
有形固定資産除売却損益	463	671	930
売上債権の増減額	▲11,837	8,635	▲5,941
棚卸資産の増減額	▲80	▲1,302	798
仕入債務の増減額	▲1,765	▲1,765	▲470
投資活動によるキャッシュフロー	▲10,375	▲8,830	▲11,744
有形固定資産の取得による支出	▲9,534	▲8,352	▲11,269
有形固定資産の売却による収入	26	83	121
財務活動によるキャッシュフロー	1,418	▲7,453	3,256
短期借入金の純増減額	▲300	▲16,622	1,104
長期借入金の純増減額	1,290	9,858	2,764
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲299	—	—
現金及び現金同等物の増減額	▲2,372	2,167	▲990
現金及び現金同等物の期末残高	1,595	3,968	1,800

[参考] 会社概要

商号	ホッカンホールディングス株式会社 HOKKAN HOLDINGS LIMITED
代表取締役社長	工藤 常史
創業年月日	大正10年10月23日
資本金	110億86百万円
事業概要	(1) 容器事業 (2) 充填事業 (3) 機械製作事業 (4) その他
株式	東証一部・札証（証券コード:5902）
本店所在地	東京都千代田区丸の内二丁目2番2号

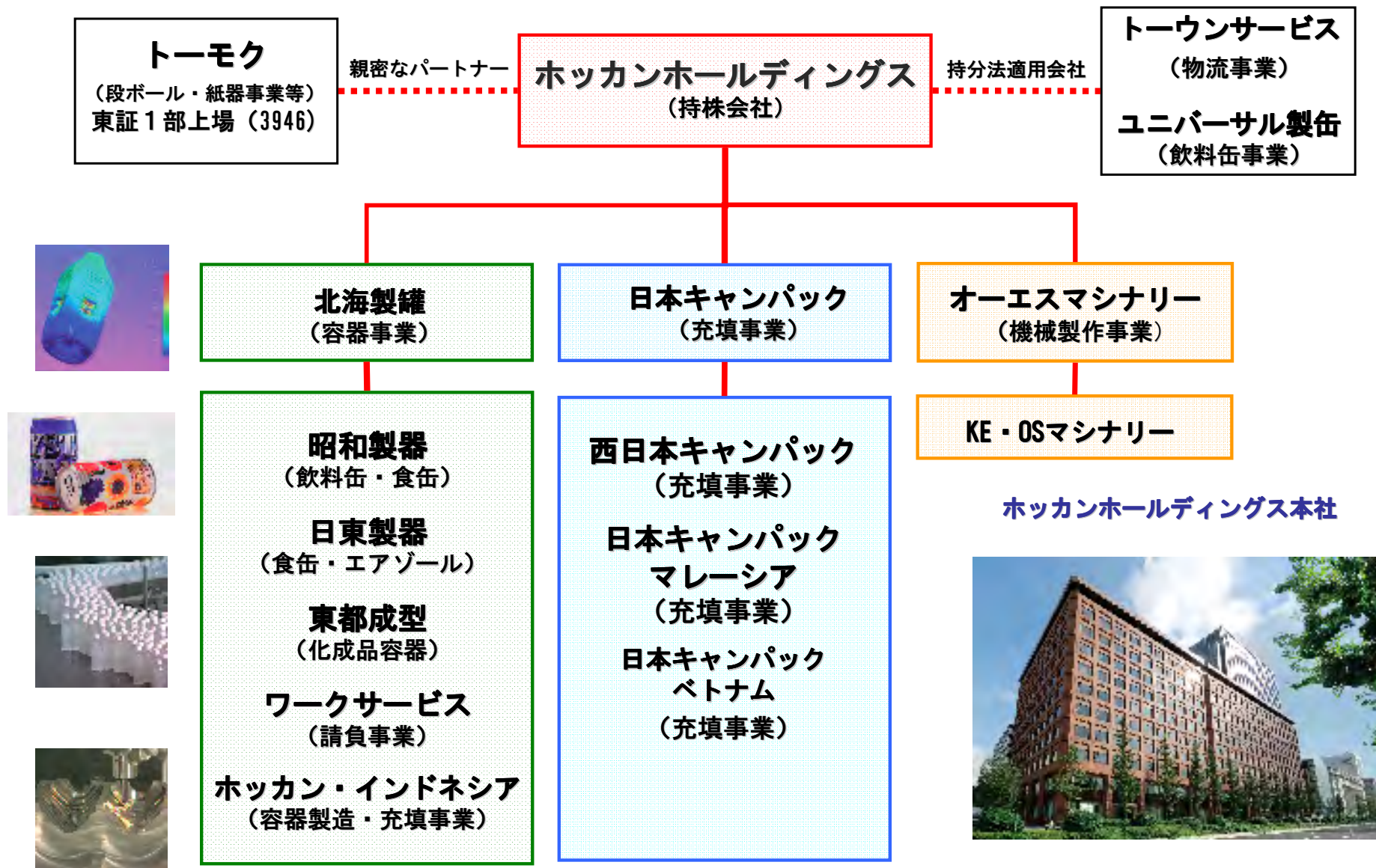


昭和20年代の北海製罐
製造の金属缶



1. 容器・充填・機械製作を通じて社会・文化に貢献する事をグループのアイデンティティとしかつ、スピード感に溢れ、透明性の高い連邦型経営を押し進める事によりグループ企業価値・株主価値の最大化を図る。
2. 品質本位に最善の努力を行い、最高の商品を提供する企業グループとして特長ある技術・ビジネスモデル等の開発に努め、かつ、地球環境を大切とし広く社会・経済の発展に寄与する。

ホッカン・グループ紹介



本社と各社工場



● ホッカンホールディングス 東京都

● 北海製罐

北海道	小樽工場（昭和製器）
群馬県	明和工場（日東製器）
	千代田工場
	館林事業所
	東都成型
埼玉県	岩槻工場
	中央研究所
滋賀県	滋賀事業所
インドネシア	ホッカン・インドネシア

● 日本キャンパック

群馬県	第一工場
	第二工場
	赤城工場
	利根川工場
岐阜県	西日本キャンパック
マレーシア	日本キャンパック・マレーシア
ベトナム	日本キャンパック・ベトナム

● オーエスマシナリー

北海道	小樽工場
群馬県	群馬工場
静岡県	KE・OSマシナリー



日本キャンパック 利根川工場



OSマシナリー 群馬工場



北海製罐 岩槻工場

沿革



- 1921年 北海製罐倉庫(株)創立 資本金100万円、本社小樽
- 1941年 製缶業者8社大合同により新たに東洋製罐(株)設立(旧北海製罐倉庫(株)は小樽工場となる)
- 1948年 過度の経済力集中排除法に基づき、経済力集中企業に指定される
- 1950年 企業再建整備計画により小樽工場およびその付属設備を分離し北海製罐(株)を設立 資本金5,000万円、本社は東京に設立 東京証券取引所に上場
小樽電解工業(株) 設立(現昭和製器(株))
- 1954年 東都成型(株) 設立
- 1960年 日東製器(株) 設立
- 1971年 北海製罐 岩槻工場竣工
- 1973年 (株)日本キャンパック 設立、翌年第1工場竣工
- 1974年 (株)小樽製作所 設立(現オーエスマシナリー(株))
- 1985年 (株)ワークサービス 設立
- 1988年 日本たばこ産業(株)と共同出資にて飲料充填会社である(株)ジェイティキャンニングを設立
(2002年に連結子会社とし、社名を(株)西日本キャンパックへ変更)
- 1989年 北海製罐 千代田工場竣工
日本キャンパック 第2工場竣工
- 1997年 日本キャンパック 赤城工場竣工
日本キャンパック マレーシア設立
- 2005年 会社分割による純粋持株会社へ移行
三菱マテリアル(株)と共同で飲料用アルミ缶製造・販売会社であるユニバーサル製缶(株)設立
- 2006年 日本キャンパック 利根川工場竣工
- 2007年 日本キャンパック 利根川工場第2ライン竣工
- 2007年 キアンジュ・キャンパック ベトナム設立
- 2011年 PT.ホッカインドネシア 設立
- 2012年 KE・OSマシナリー設立
キアンジュ・キャンパック・ベトナムを子会社化 日本キャンパック・ベトナムへ名称変更



昭和30年代の北海製罐
函館工場と北洋漁業風景

注意事項



当資料に記載された内容は、2012年12月現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した経営計画に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。また、業績見通し等の数値はその正確性を保証するものではありません。投資に際しての最終的なご判断は、ご自身でなされるようお願い致します。

お問合せ先:

ホッカンホールディングス株式会社

取締役 山崎 節昌

TEL: 03-3213-5111